

おばま 市議会だより

No. 178



会計年度任用職員の待遇改善を求める附帯決議を可決
議会報告会を12地区で開催しました

会計年度任用職員の待遇改善を追求

※附帯決議:可決した案件に対する議会の要望、意見等を表明すること。法的拘束力はありません。

総務省は、会計年度任用職員の給与改定について「正規職員に準じることの基本とする」と通知をしていました。しかしながら、今定例会で提出された令和5年4月にさかのぼって職員の給与を改定する内容の条例改正の対象に、会計年度任用職員は含まれていませんでした。

議会ではこの件について、会議時間を延長し、その理由等を徹底追求しました。その概要を報告します。

問

会計年度任用職員に関して、正規職員と同様に4月にさかのぼって給与を改定する内容の改正が含まれていない理由と、これまでの検討状況は。

答

総務省からの通知を受け、会計年度任用職員も同様に改定するよう必要な対応について検討を始めた。約250人を超える会計年度任用職員分の引上げに係る支給額等の算定において、その正確性を期すためにはシステム改修が必要であると判断し、業者との調整を行ったが、改修に相当の時間を要することから、今定例会での条例改正が間に合わない状況となった。

問

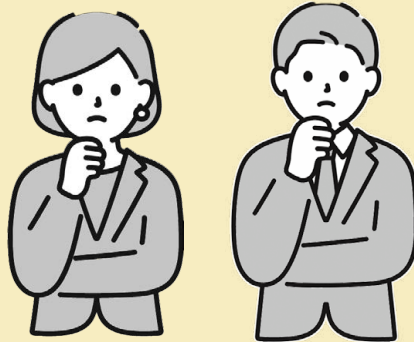
今後の会計年度任用職員分の引上げ改定に係る対応等の方針は。

答

会計年度任用職員分の改定については、改定に伴う差額分をさかのぼって支給できるよう、次回定例会での関連議案の提出と必要な例規の改正等を行う予定である。なお、支給額等の算定に係るシステム改修が間に合わない場合には、職員による計算処理をもって対応する。

質疑の終了後、議員間で自由討議^{*}を行いました。意見の一部を紹介します。

今回、対応がなされなかった会計年度任用職員の期末手当基礎額の改定に伴う引上げ分が確実に支給されるよう、適切な措置を講じるべきだ。



他自治体が対応できている中、本市では対応が間に合わなかったことについては、会計年度任用職員の待遇改善に対する市としての意識が希薄であったと言わざるを得ない。

※自由討議:問題について結論を出すために、議員相互間で自由に意見を出し合って検討すること

以上の審査を踏まえ、次の事項に留意するよう求める附帯決議を全会一致で可決しました。

1. 会計年度任用職員の期末手当基礎額の改定に伴う引上げ分を確実に支給するよう、次回定例会に関連議案を提出するなどの適切な措置を講ずること。
2. 市においては、会計年度任用職員の待遇改善等に対する意識をさらに高めるとともに、今回の事案を踏まえ、今後必要な措置をとるときには時機を逸しないよう、緊張感を持って各種業務に取り組むこと。

くまなくチェック 委員会審査



■ 可決した12月補正予算

一般会計

補正額
4億 8,499万円



特別会計

既決予算額 補正額
76億 6,633万円 1億 3,452万円

企業会計

既決予算額 補正額
35億 5,961万円 59万円

12月定例会では、物価高騰が続く中、市民の家計負担を軽減するための事業や北陸新幹線敦賀開業による観光客の受け入れ態勢整備に要する費用などの補正予算を可決しました。審査の過程でありました質疑などを紹介します。

物価高騰対策 生活者応援事業 6,629万円

エネルギーや食料品などの物価高騰の影響を受けている市民の負担を軽減するとともに、地域における消費を喚起するため、市内の店舗で利用できる「おばまちチケット」3,000円分を2,000円で販売するもの

問

令和4年度の同事業ではおばまちチケットを全市民に「配付」したのに対し、今回「販売」することにした理由は。

答

「配付」も選択肢に入れて検討を行ったが、財源に充てることのできる国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の上限額が決まっている中で、早期にかつ効果的に実施する必要があるため、「販売」を採用することにした。

自由討議

質疑の終了後、おばまちチケットを「販売」することの是非等について、自由討議を行いました。意見の一部を紹介します。

2,000円というチケットの販売価格が高すぎるとまでは言えず、物価高騰対策として7万円を給付する事業と併せた支援と捉えれば、事業として問題ない。

チケットは少額だとしても、「配付」のほうが事業目的に合致するのではないかと。



問

販売を採用する場合には市民の自己負担が伴うため、チケットを買いたくても買えない人が出てくると思われ、物価高騰の影響により生活に窮する市民を支援するという事業目的を果たせないのではないか。

答

別の事業ではあるが、住民税非課税世帯等へは1世帯につき7万円を給付する予定である。その給付金と併せて支援したいと考えている。

公共交通人材確保支援事業

75万円



説明

タクシー乗務員の不足が深刻な課題となっており、ことから、タクシー事業者が行う乗務員の確保に要する経費を補助するもの。

問

市内の事業者2社における乗務員不足の現状と、その確保に向けた自助努力の取組み等は。

答

市内の事業者2社では現時点でそれぞれ3人の乗務員の採用を目指しており、今後においても1社ではさらに7人程度を、もう1社ではさらに3人程度を採用したいとの意向を持っている。このような中、タクシー業界としては乗務員採用に向けた説明会の開催を、各事業者では新聞広告による乗務員募集等を行っている。市としては、事業者の自助努力を引き続き促しながら、市民に対しても、乗務員不足が生活に直結する問題であることを、広報紙を通じて訴えていく。

観光おもてなし推進事業

675万5000円

問

人魚と八百比丘尼にまつわる伝説は本市の観光施策を推進する上で高い潜在能力があると考え、北陸新幹線敦賀開業を目前に控えた今この時期に施策に取り入れた経緯は。

答

人魚はこれまでから市内でブランドとして認知されており、人魚の浜やマーメイドテラスの設置をはじめ、八百比丘尼を日本遺産にしようという機運が盛り上がりを見せたことがあったほか、八百比丘尼に関心のある人々を全国各地から招き、シンポジウムを開催した実績もある。今回唐突に人魚を取り入れたというわけではなく、人魚の根本には御食国があるのだという物語を伝える一つのツールにしたい。

小浜市印鑑条例および小浜市手数料条例の一部改正について

説明

令和6年3月18日から、印鑑登録証明書のコンビニ交付サービスを導入することに伴い、本サービスを利用した場合における手数料の金額を引き下げることに、所要の改正を行うもの。

問

コンビニ交付サービスを導入するに至った理由と、手数料はコンビニ交付のほうが市役所窓口での交付よりも安くなることに関し、負担の公平性についての考えは。

答

コンビニで印鑑登録証明書など取得できるコンビニ交付サービスは全国的に普及しており、これまで市内外の方からサービス導入

自由討議

質疑の終了後、コンビニ交付と市役所窓口交付との手数料の額に差を設けることの妥当性について自由討議を行いました。意見の一部を紹介します。

コンビニ交付が増えれば、市役所での交付等に係る人件費の削減につながるとともに、職員はその分の労力を他の業務に向けることができる。DX等による業務改善、効率化を促進するために必要なインセンティブと捉えることができる。

コンビニ交付は全て自分で端末を操作しなければならないのに対し、市役所では全て職員が対応してくれるという違いがあることから、手数料の額の差は妥当だと言える。

コンビニ交付やDXに反対ではないが、市民サービスの観点において公平性に欠けるのではないか。



を求める要望が多くあったことから、今回導入を決めた。市民等にコンビニ交付の利用を促し、その利便性を実感してもらったり、マイナンバーカードの更なる普及を図るという政策の狙いから、コンビニ交付の手数料を安く設定した。

市政を問う！一般質問

令和5年第5回(12月)小浜市議会定例会

氏名	質問項目	氏名	質問項目
佐野 達也	1. 2次交通の整備とインバウンド施策について 2. 市内の観光おもてなしの充実について	池田 英之	1. 令和6年度当初予算編成方針について 2. インパクトのある観光誘客について
杉本 和範	1. 敦賀開業後の行財政方針 2. 小学校統廃合に伴う教育と地域の課題 3. 市民の足の確保に向けた公共交通の在り方	小澤 長純	1. 健康管理センターについて 2. 北陸新幹線敦賀以西の着工について
上野 一	1. 地域農業の現状と課題(水稲)	東野 浩和	1. インバウンド受入環境整備の状況について 2. 保護猫対策について
浦谷 梨華子	1. 築40年以上の市内小・中学校のトイレ環境	世戸 玉枝	1. 使用済み核燃料保管について 2. 会計年度任用職員のなり手不足について 3. 地域包括支援センターの委託について 4. 国民健康保険税の資産割、均等割について
今井 伸治	1. 子どもの安全・安心について 2. 住民の安全・安心のまちづくりについて	富永 芳夫	1. 小浜市の自治体DX推進について

※一般質問の原稿は発言議員が自ら作成しています。二次元コードを読み取ると、一般質問の様子を動画でご覧いただけます。

2次交通の整備とインバウンド施策



佐野 達也



問 敦賀からの直行バスの運行および小浜線臨時列車などの運行について伺う。

答 北陸新幹線敦賀開業効果の最大化を図るため、2次交通の充実によるアクセス向上を図り、本市および嶺南地域への誘客を促すことが重要である。直行バスについては、敦賀駅と小浜市の間を直接つなぎ、嶺南西部への速達性の確保とともに、小浜市、おおい町、高浜町のJR主要駅や道の駅など観光スポットへの周遊性を高める。また、レンタカーを利用して小浜市内およびおおい町内、高浜町内に宿泊するお客様に対し、レンタカーの料金を割り引くプランを実施する。

問 外国人旅行者だけが購入できるJRグループが提供する乗り放題のジャパンレールパスを使い終点の敦賀駅まで利用する機会が増えると考えますが、インバウンドの受け入れについて伺う。

答 観光案内看板や小浜の歴史文化を紹介する音声ガイドの多言語化をはじめ、観光案内所においては複数名の英語対応可能なスタッフの配置、宿泊施設やボランティアガイドなどに対しては、インバウンド対応セミナーや翻訳アプリを活用したおもてなし研修会などを開催してきたところである。市内の飲食店等に対しては、多言語対応のグループマップ上に店舗情報を反映させる、グループに掲載する店舗情報の新設や更新への支援を行う。

財政難で敦賀開業後のまちづくりは？



杉本 和範



問 市の令和5・9年度財政状況はどうなる。歳入は令和5、6年度に減少、その後は約116億円台で推移。歳出は約119億円から122億円台で推移。財政調整基金(貯金は22億8200万円から令和9年度には、14億3000万円減少し、8億7900万円となる見込み。

問 財政難の中、財源確保にふるさと納税の額5億円を目指すことを提言してきたが現状は？

答 9月寄附額は駆け込み需要で前年同月を上回ったが、10月以降は下回っている。

問 令和6年3月16日以降、財政難の中どうまちづくりを進めるのか？

答 駅位置・ルートが公表されれば、直ちに具体的なまちづくりの基本計画に市民の皆さまとの意見交換を踏まえて着手したい。

財政 計画は厳しい
毎年約3億の赤字を貯金(基金)から取り崩す

令和9年度貯金が約8億まで減る！
しかもふるさと納税が他市町に比べてもふるさと納税が他市町に比べても

市長! 5億目標
ふるさと納税
すぐ実現へ

新幹線小浜ルート全線開通まで10年以上ありは非常に厳しい。敦賀開業のインバウンド需要、企業誘致と共にどう地域産業が繁栄するかが。

農業従事者への支援策、米消費拡大の戦略！



うえの はじめ
上野



問 全ての農業従事者に対して、米価が上がらなければどうするか、高騰している肥料、農薬、資材、機械、燃料に対しての支援を拡大すれば良いのでは？

答 国、県の支援策以外にも、市として独自の支援策を実施すべきであるが、このことについて問う。

問 アンケート調査による要望に基づき経営や栽培に関する研修会を実施。また、機械や設備導入にかかる補助事業は要望が高いが、過剰投資にならないよう計画的な機械導入を支援するため、小浜市、嶺南振興局、JA福井県等による個別相談会を実施している。

問 米の消費拡大について、食文化館で毎年市内の全保育園児の年長を対象にキッズキッチンを開催している。そこで日本型食生活の重要性を伝えていく。このすばらしい取り組みの延長として、現在公立園12園、小中学校11校に米を提供している。その他にも、私立保育園・託児所・福祉施設等に米を毎年提供する（小浜米を子ども時からわかってもらうことが消費拡大につながる）などの考えについて問う。

答 有機農業など環境に配慮した農業生産への関心が高まる中、有機米や特別栽培米には高い需要があり、本市においても、環境に配慮して生産したお米をブランド化するなど新たな取組みを支援することで消費拡大を行い、農業者の所得確保と稲作農業の体質強化を図る。

たかがトイレ されどトイレ



うらまたに りかこ
浦谷 梨華子

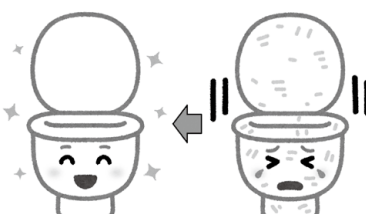


問 令和5年10月5日の新聞に避難所を意識して学校トイレの洋式化が進んでいるという記事があった。市内小中学校トイレの洋式化率は？

答 小浜市では、平成31年度から令和3年度にかけて、全ての小中学校のトイレごとに最低1基、個室が4室以上のトイレについては2基を洋式とする方針で、整備を行った。その結果、現在の洋式トイレの割合は、市内小中学校全体では60%となっており、その内訳は、校舎内では58%、体育館は76%である。

問 学校施設における今後のトイレの整備についての考えを伺う。

答 学校のトイレについては、児童・生徒や保護者、地域の方々から清潔で快適な環境を求める要望が強く、トイレの改修を進める必要があると認識している。その中で、学校施設は災害時の避難所となることを踏まえ、男女別トイレの設置やバリアフリー化などへの対応も必要と考えている。こうしたことから、全小中学校のトイレについては、今一度状況把握を行うとともに、国・県の補助制度等による財源確保に努め、児童・生徒や地域の方々にとって使いやすいトイレとなるよう、整備・改修の検討を行っていく。



子どもの安全な活動場所 校庭と公園



いまい しんじ
今井 伸治



問 今富小学校校庭の遊具について問う。

答 校庭は学校を構成する重要な施設の一部であり、児童・生徒の健全な身体発達に欠かすことができない貴重な施設であるとともに、学校の社会的機能を果たす有益な空間である。一方で子ども達が、安全・安心な学習活動が行えるよう環境整備に努めなければならぬため、市内の学校校庭内の全ての遊具の安全点検を実施し、遊具の劣化度、危険性の診断を行い、安全性等の規格を満たさない遊具は撤去した。校庭に遊具が無いことは、子ども達や地域の声も聴きながら、これからの学校遊具の在り方について検討し、学校校庭として望ましい環境となるように努めていく。

問 今富地区内の公園整備について問う。

答 今までも、市長と描くわがまちデザイン「トーク」等で、生守区内での公園整備についての要望を多く頂いている。公園整備にあたっては、費用が多額である事や設置場所の選定等により、これまで整備に至っていなかったが、今回様々の検討の結果、生守にある市営駐車場の土地を活用し、公園整備を進めたいと考えている。当地区の浸水被害を考慮し、大雨時にはここに一時的に雨水を貯留することで、森川への流出を軽減させる機能も持たせる。公園の整備を早急に進め、子どもの遊び場や地域づくりに資する交流の空間を提供し、より一層の住民の安全・安心のまちづくりを推進する。

限られた予算で最大限の効果の発揮を！



いけだ ひでゆき
池田 英之



問 令和6年度は、収支不足が見込まれているがその対応は。

答 埋めるための財源として財政調整基金からの繰入を行い対応。

問 行財政改革大綱・行政経営プランの予算への反映について。

答 年2回のヒアリングにより進行状況を把握し、その結果を踏まえた予算査定を行う。

問 事務事業の見直しとメリハリをつけた事業運営について。

答 事業の目的と社会状況、市民ニーズ等が合致しているか、あらゆる角度・手法の検討を行う。政策的経費の要求枠に5%のマイナスイニングを設定し、生み出した財源は未来を創造するための政策推進枠に活用する。

問 北陸新幹線敦賀開業について市内の盛り上がり不十分と感ずるが見解を。

答 JR小浜駅に懸垂幕の設置や開業キャンペーンの事前告知等おもてなしの充実が図られるよう積極的に呼びかけていく。

問 インパクトのあるプロデュースについて観光素材の絞り込みは。

答 「小浜の食」に加え、新たに「小浜のマーメイド」に取り組み「美と健康」を展開する。

問 観光誘客の目玉に国宝「明通寺」を。

答 秋にパワースポット巡りを予定しておりPRしていきたい。

問 情報発信の取組について。

答 観光局や観光協会だけでなく市内の事業者や市民による情報発信も促す。

業者や市民による情報発信も促す。

市民に信頼される健康管理センターへ



おざわ ながすみ
小澤 長純



問 新健康管理センターのコンセプト、体制整備のポイント。

答 コンセプトは、生活困窮や障がい、子育て、介護など、市民の福祉ニーズに対し一体的に支援を実施するための「重層的支援体制の構築」とその「相談窓口の集約化」である。体制整備のポイントは、①市民にとって分かりやすく利用しやすい窓口、②ICT技術等を活用し、ワンストップで市民ニーズに応える窓口、③事務処理の効率化、迅速化の3点を大きく掲げている。

問 分かりやすく利用しやすい窓口になっているのか。

答 今回新たに、生活サポートセンター「あいあい」、子育て応援センター「すくすく」、高齢者支援センター「いきいき」を設置し、相談窓口を分かりやすくするとともに愛称を付けることにより、市民の皆さまに親しみを持っていたいただければと考えている。

問 本庁舎へ相談に来られた方への対応は、本庁舎で完結することができるのか。

答 サテライトデスクでの対応や、タブレット端末を活用しセンターの職員とやりとりを行うなど、来庁者の方が移動していただくことなく対応できる体制を整えている。

問 今後、どのようなセンターを目指していくのか。

答 市民の皆さまの笑顔を育む施設として、信頼され頼っていたただける、気軽に集まっていたただけるセンターを目指していきたい。

市民の皆さまの笑顔を育む施設として、信頼され頼っていたただける、気軽に集まっていたただけるセンターを目指していきたい。

市民の皆さまの笑顔を育む施設として、信頼され頼っていたただける、気軽に集まっていたただけるセンターを目指していきたい。

市民の皆さまの笑顔を育む施設として、信頼され頼っていたただける、気軽に集まっていたただけるセンターを目指していきたい。

市民の皆さまの笑顔を育む施設として、信頼され頼っていたただける、気軽に集まっていたただけるセンターを目指していきたい。

市民の皆さまの笑顔を育む施設として、信頼され頼っていたただける、気軽に集まっていたただけるセンターを目指していきたい。

市民の皆さまの笑顔を育む施設として、信頼され頼っていたただける、気軽に集まっていたただけるセンターを目指していきたい。

市民の皆さまの笑顔を育む施設として、信頼され頼っていたただける、気軽に集まっていたただけるセンターを目指していきたい。

動物愛護による快適な生活環境の実現を



ひがしの ひろかず
東野 浩和



問 近年、県動物愛護センターの猫の引き取り業務が増加し、その対策が急務と言われているが、本市における飼い主のいない猫を増やさないための取組みおよびその支援は。

答 本市で受けた相談については、窓口となる県動物愛護センターにつながることも、同センターの協力やアドバイスをいただきながら、猫の適正飼育の啓発チラシの配布や無責任な餌やり行為に対する注意喚起看板の設置等の対応を行っている。また、本年度より過剰な繁殖の抑止と市民の快適な生活環境の保全に努めるため、不妊手術の支援事業に取り組んでおり、不妊去勢手術費の約2分の1を補助金として支援している。本年度の実績としては、11月末現在で、9頭の手術に対して支援している。

問 動物愛護と適正な飼育に向け、飼い主のいない猫に対するさらなる支援強化が必要と考えるが。

答 猫は1回に4頭から8頭を産むと言われていることから、不妊手術支援事業は飼い主のいない猫の抑止につながっている。来年度については、支援対象とする猫の頭数を増やすことや申請者1人当たりの支援可能頭数の見直しを行い、支援強化を図っていきたい。

猫は1回に4頭から8頭を産むと言われていることから、不妊手術支援事業は飼い主のいない猫の抑止につながっている。来年度については、支援対象とする猫の頭数を増やすことや申請者1人当たりの支援可能頭数の見直しを行い、支援強化を図っていきたい。

猫は1回に4頭から8頭を産むと言われていることから、不妊手術支援事業は飼い主のいない猫の抑止につながっている。来年度については、支援対象とする猫の頭数を増やすことや申請者1人当たりの支援可能頭数の見直しを行い、支援強化を図っていきたい。

猫は1回に4頭から8頭を産むと言われていることから、不妊手術支援事業は飼い主のいない猫の抑止につながっている。来年度については、支援対象とする猫の頭数を増やすことや申請者1人当たりの支援可能頭数の見直しを行い、支援強化を図っていきたい。

猫は1回に4頭から8頭を産むと言われていることから、不妊手術支援事業は飼い主のいない猫の抑止につながっている。来年度については、支援対象とする猫の頭数を増やすことや申請者1人当たりの支援可能頭数の見直しを行い、支援強化を図っていきたい。

猫は1回に4頭から8頭を産むと言われていることから、不妊手術支援事業は飼い主のいない猫の抑止につながっている。来年度については、支援対象とする猫の頭数を増やすことや申請者1人当たりの支援可能頭数の見直しを行い、支援強化を図っていきたい。

猫は1回に4頭から8頭を産むと言われていることから、不妊手術支援事業は飼い主のいない猫の抑止につながっている。来年度については、支援対象とする猫の頭数を増やすことや申請者1人当たりの支援可能頭数の見直しを行い、支援強化を図っていきたい。

猫は1回に4頭から8頭を産むと言われていることから、不妊手術支援事業は飼い主のいない猫の抑止につながっている。来年度については、支援対象とする猫の頭数を増やすことや申請者1人当たりの支援可能頭数の見直しを行い、支援強化を図っていきたい。

猫は1回に4頭から8頭を産むと言われていることから、不妊手術支援事業は飼い主のいない猫の抑止につながっている。来年度については、支援対象とする猫の頭数を増やすことや申請者1人当たりの支援可能頭数の見直しを行い、支援強化を図っていきたい。

猫は1回に4頭から8頭を産むと言われていることから、不妊手術支援事業は飼い主のいない猫の抑止につながっている。来年度については、支援対象とする猫の頭数を増やすことや申請者1人当たりの支援可能頭数の見直しを行い、支援強化を図っていきたい。

猫は1回に4頭から8頭を産むと言われていることから、不妊手術支援事業は飼い主のいない猫の抑止につながっている。来年度については、支援対象とする猫の頭数を増やすことや申請者1人当たりの支援可能頭数の見直しを行い、支援強化を図っていきたい。

猫は1回に4頭から8頭を産むと言われていることから、不妊手術支援事業は飼い主のいない猫の抑止につながっている。来年度については、支援対象とする猫の頭数を増やすことや申請者1人当たりの支援可能頭数の見直しを行い、支援強化を図っていきたい。



国保税、資産割均等割廃止を



せと たまえ
世戸 玉枝



問 関電の「使用済み燃料対策ロードマップ」について。

答 国と事業者には、使用済み燃料の安全対策、適切な情報提供に努めてもらいたい。

問 小浜市民はこれまで、中間貯蔵施設を設置を拒否してきた。乾式保管と名前を変えても、中間貯蔵施設に変わりはしない。

答 地域包括支援センターの委託について、そもそも、なぜ民間委託か。

答 複雑多様化する事案に対応していくため、民間事業者が有する高度な介護の知識と技術、専門性や継続性を活かす。

問 国保税の資産割は、土地や家を持っていても収入になるわけではないのに税をかける。小浜市の資産割廃止は。

答 資産割の税率を段階的に引き下げて、令和8年度に廃止する方向。

問 昨年度から、未就学児の均等割が半額減額された。全額免除にしたら市の持ち出しはいくらか。

答 5割減額の場合は、1,030,479円、対象数は91人。

未就学児の均等割半額減額の場合	1,030,479円
全額免除の場合	2,060,958円

問 国保税の保険料は、社会保障の約2倍、子どもが生まれれば均等割でまた上がる。少子化対策に逆行している。市の、国保税子どもの均等割の減額拡大について。

答 現在、国保の財政運営、減額措置は県が定め、17市町が同時に実施することとなる。

小浜市の自治体DXの推進について



とみなが よしお
富永 芳夫



問 自治体DXの目的を市の従来の業務改革との違いを含めて伺う。

答 DXは従来の業務改革のように一部の業務効率化や一部の取組みではなく、デジタル技術を活用した全庁的取組みで、市民の皆さまの生活の質を向上させることが目的。

問 令和5年度のDX推進の取組状況は。

答 ①引越しワンストップサービスや子育て介護の27行政手続きのオンライン申請の開始②市役所の窓口手続きでのキャッシュレス決済の開始③健康管理センターと本庁間のWEB相談の開始④コンビニでの住民票等の交付サービスの準備を現在している等。

問 令和6年度のDX推進の実施予定は。

答 ①標準準拠システムへの移行準備②AI-OCRの導入③RPAの活用等を予定。

問 生成AIに対する小浜市の対応は。

答 ガイドラインを作成し、情報漏洩、法令違反、権利侵害等に気を配りながら一部職員が試験的に利用。本格利用は国や県の動向を注視しつつ、安全に利用できる環境を整えて職員が安心して活用できるように努めていく。

問 市のDXに対する今後の方針は。

答 市民の皆さまの福祉向上には、デジタル技術の活用が極めて重要。今後本庁と出先機関とのオンライン会議を積極的に取り入れ、また完全ペーパーレス化を目指し電子決裁、文書管理システムの導入を進めたい。市全体においても、DX推進の意義を事業者の皆さまと共有し、地域社会を発展させていく。

◆議会活動日誌◆

◆10月

- 4 (水) 広報推進特別委員会、小浜市表彰選考委員会
- 6 (金) 総務民生常任委員会
- 10 (火) 全員協議会、広報推進特別委員会、小浜市若狭町・高島市総合振興協議会正副会長会議(滋賀県高島市)
- 11 (水) 議会運営委員会管外視察(右手県奥州市、福島県会津若松市)～13日
- 14 (土) 川越まつり(埼玉県川越市)～15日
- 17 (火) 福井県市議会議長会による中央要望活動(東京都内)
- 19 (木) 北信越市議会議長会評議員会(富山県富山市)
- 20 (金) 福井県市町議会議員合同研修会(福井市)
- 23 (月) 議会運営委員会
- 24 (火) 総務民生常任委員会、議会報告会連絡会、議場見学受入れ(雲浜小学校2年生)
- 25 (水) 嶺南広域行政組合議会管外行政視察(岐阜県可児市、岐阜県高山市)～26日
- 27 (金) 福井県市町総合事務組合議会定例会(福井市、福井県自治会館組合議会定例会(福井市))
- 28 (土) 「御食国若狭おばま杯」親善ソフトバレーボール大会
- 29 (日) 舞鶴若狭自動車道4車線化事業に伴う着工式(高浜町、若狭消防組合秋季消防訓練)
- 30 (月) 福井県原子力発電所準立地市町連絡協議会による研修、中央要望(茨城県東海村、東京都内)～31日
- ◆11月
- 2 (木) 原子力発電小浜市環境安全対策協議会
- 3 (金) 小浜市表彰式
- 6 (月) 議会運営委員会、若狭消防組合議会定例会
- 7 (火) 小浜市・若狭町・高島市総合振興協議会による福井県、滋賀県要望活動(市内、滋賀県大津市)
- 8 (水) 全員協議会、各派代表者会、産業教育常任委員会
- 9 (木) 全国市議会議長会理事會、評議員会合同会議(東京都内)
- 10 (金) 議会報告会(小浜、国富、遠敷、加計)
- 12 (日) 小浜市総合文化祭短歌大会、表彰式
- 13 (月) 北陸新幹線早期全線開業特別委員会
- 14 (火) 議会運営委員会

令和5年第5回定例会の採決結果

賛成全員で可決、同意した議案等

項目	件名	項目	件名	
報告	議会の委任による専決処分の報告について(損害賠償の額を定めることについて)	条例	小浜市一般職の職員の給与に関する条例および小浜市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	
	議会の委任による専決処分の報告について(損害賠償の額を定めることについて)		小浜市国民健康保険税条例の一部改正について	
予算	令和5年度小浜市一般会計補正予算(第5号)		小浜駅賑わい創出施設の設置および管理に関する条例の制定について	
	令和5年度小浜市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)		小浜市空家等の適正な管理に関する条例の一部改正について	
	令和5年度小浜市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)		小浜市特定教育・保育施設および特定地域型保育事業ならびに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	
	令和5年度小浜市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)		小浜市水道事業および簡易水道事業ならびに下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	
	令和5年度小浜市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)		決議	議案第80号小浜市一般職の職員の給与に関する条例および小浜市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正についてに対する附帯決議について
	令和5年度小浜市漁業集落環境整備事業特別会計補正予算(第2号)			その他
	令和5年度小浜市水道事業会計補正予算(第2号)		小浜市まちなか交流施設の指定管理者の指定について	
	令和5年度小浜市下水道事業会計補正予算(第3号)		小浜市インフォメーションセンターの指定管理者の指定について	
	令和5年度小浜市一般会計補正予算(第6号)	小浜市水産業活性化拠点施設の指定管理者の指定について		
	令和5年度小浜市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)			
令和5年度小浜市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)				

賛否が分かれた議案等

多=賛成多数(可決・採択) ○=賛成 ×=反対

項目	件名	採決結果	浦合梨華子	佐野達也	上野一	世戸玉枝	杉本和範	東野浩和	川代雅和	岡泰宏	竹本雅之	牧岡輝雄	藤田靖人	池田英之	小澤長純	今井伸治	下中雅之	富永芳夫	池尾正彦	賛成	反対	
予算	令和5年度小浜市一般会計補正予算(第7号)	多	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	1
条例	小浜市特別職の職員の給与および費用弁償に関する条例の一部改正について	多	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	1
	小浜市印鑑条例および小浜市手数料条例の一部改正について	多	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	1
市会案	小浜市議会議員の議員報酬および費用弁償等に関する条例の一部改正について	多	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	1

藤田靖人議員は議長のため、採決には加わっていません

26	(火) 公立小浜病院組合議会	12月	1	(金) 総務民生常任委員会、産業教育常任委員会、小浜市防犯隊年末警戒出動式	2	(土) 杉田玄白賞表彰式・記念講演会および杉田玄白・中川淳庵先生顕彰祭	3	(水) 令和5年第5回小浜市議会定例会、議会運営委員会、全員協議会	4	(月) 総務民生常任委員会・分科会	5	(火) 産業教育常任委員会・分科会	13	(水) 令和5年第5回小浜市議会定例会、議会運営委員会、全員協議会	14	(木) 令和5年第5回小浜市議会定例会、広報推進特別委員会	15	(金) 予算決算常任委員会全体会	18	(月) 嶺南市町議長会による福井県知事要望(福井市)	19	(火) 総務民生常任委員会	20	(水) 令和5年第5回小浜市議会定例会、議会運営委員会、産業教育常任委員会	21	(木) 議会運営委員会、若狭消防組合議会臨時会	22	(金) 嶺南広域行政組合議会定例会(敦賀市)	25	(月) 若狭広域行政事務組合議会定例会(若狭町)	26	(火) 公立小浜病院組合議会	27	(月) 北陸新幹線の早期全線開業を求める中央要望(東京都内)	28	(火) 広報推進特別委員会、公立小浜病院組合議会	29	(水) 令和5年第5回小浜市議会定例会、予算決算常任委員会、総務民生常任委員会	30	(木) 商工優良従業員表彰式	15	(水) 総務民生常任委員会、議会報告会(雲浜、内外海、今富、中名田)	16	(木) 北陸新幹線早期全線開業特別委員会中央要望(東京都内)	17	(金) 嶺南市町議長会による福井県議会議長要望(福井市)、北陸新幹線早期全線開業特別委員会管外視察(埼玉県熊谷市)	21	(火) 議会運営委員会、福井県後期高齢者医療広域連合議会定例会(福井市)	22	(水) 全員協議会、議会運営委員会、議会報告会(西津、宮川、松永、口名田)、(株)ケーブルテレビ若狭小浜役員会	24	(金) 福井県港湾協会通常総会(敦賀市)	25	(土) 小浜男女共同参画のつどい	26	(日) 小浜市健康管理センターグランドオープンセミナー、防災講演会
----	----------------	-----	---	---------------------------------------	---	-------------------------------------	---	-----------------------------------	---	-------------------	---	-------------------	----	-----------------------------------	----	-------------------------------	----	------------------	----	----------------------------	----	---------------	----	---------------------------------------	----	-------------------------	----	------------------------	----	--------------------------	----	----------------	----	--------------------------------	----	--------------------------	----	---	----	----------------	----	------------------------------------	----	--------------------------------	----	---	----	--------------------------------------	----	---	----	----------------------	----	------------------	----	-----------------------------------

早期着工への熱意よ届け！

～北陸新幹線早期全線開業特別委員会 中央要望・行政視察～

中央要望

要望日：令和5年11月16日(木)

要望先：国土交通省、与党整備委員会委員、福井県選出国會議員

小^こ鏝^{やりたかし}隆史国土交通大臣政務官ほか、国土交通省鉄道局長や福井県選出国會議員、与党整備委員会委員ら13人に対し、敦賀・新大阪間について令和7年度当初までに着工できるよう着工5条件の早期解決を図るとともに、開業までの期間を最大限短縮し、一日も早い全線開業を実現することなど4項目を要望しました。

小鏝政務官は、「環境影響評価中ではあるが、今まさに事前調査に着手したところである。令和6年度の予算もしっかり要求し、皆さんのお声も聴きながら要望の内容について取り組んでいけるように頑張りたい」と述べられました。



全委員で国へ要望

行政視察

視察日：令和5年11月17日(金)

視察先：埼玉県熊谷市

同市の新幹線を生かしたまちづくりや通勤補助制度等について視察研修を行いました。

新幹線定期券購入補助については、市外からの移住者を対象とすることから始め、令和3年度からは定住支援を目的に新規就職者を対象を拡大しているほか、企業誘致の促進による働く場の確保や人口減少に対する施策等、首都圏にある熊谷市においても重要な施策となっています。

新幹線の開業により、生活・ビジネス・観光等いろいろな面で人の往来が増加し、地域の活性化が期待できる一方、新幹線から乗り継ぐ2次交通の整備、移住・定住、空き家の増加等の課題もあり、多岐にわたる意見交換ができ、充実した行政視察となりました。



施策の説明に聞き入る委員

今号の表紙

「あ、モニターに映ってる！」

令和5年10月24日、雲浜小学校の2年生約30人が議場の見学に来てくれました。初めて入る議場に最初は緊張気味の様子でしたが、見学を終え、場内を映し出す壁面のモニターを見上げると自分たちの姿を発見。楽しい記憶として残れば幸いです。

編集後記

11月10日から3日間にわたり開催しました議会報告会では、各地区の皆さんの生の声を聴かせていただきました。そこで強く感じたのは、地区、小浜市への熱い思いと、未来の小浜へのデザインであります。皆さんのご意見をしっかりと受け止め、市政に届けていきたいと思えます。市民の皆さんへの感謝の気持ちを忘れず、ともにスクラムを組み、小浜の未来にトライしていく所存であります。

このたびの令和6年能登半島地震で被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。皆さまの安全と一日も早く平穏な生活に戻られますことを心よりお祈り申し上げます。

広報推進特別委員会 委員 上野 一

議会報告会を開催しました

「開かれた議会」を目指して、市内全12地区のコミュニティセンターにおいて、議会報告会を、令和5年11月10日（金）・15日（水）・22日（水）の3日間にわたり開催しました。

議会定例会と北陸新幹線に関する活動について報告を行い、その後の意見交換では、皆さまから貴重なご意見を数多く頂きました。

12会場で合計233人の市民の皆さまにご参加いただきました。たくさんのご参加、ありがとうございました。

北陸新幹線についてのご意見

- ・新幹線開通後の小浜市内の2次交通、駅へのアクセスはどうなるのか。また、免許返納後の交通手段の確保はどうなるのか。先が見えない。
- ・他府県では環境への影響を懸念し反対する声や、ルートの再考を求める話も上がっている。これらを静観していれば、小浜には新幹線など来ないのではないかと心配している。
- ・新幹線の議論の中で必ず経済効果というたい文句が上がるが、新幹線が来たことで人口が増えるとは思えない。新幹線は、全線開業まで長い時間がかかるが、人口減少は待たなし。若い人たちをどうやって取り込んでいくのが大事だと思う。

◆ 議会報告会とは

小浜市議会基本条例に基づき開催するもので、議会の説明責任を果たすとともに、市民の皆さまからのご意見を議会に反映させることとしていきます。

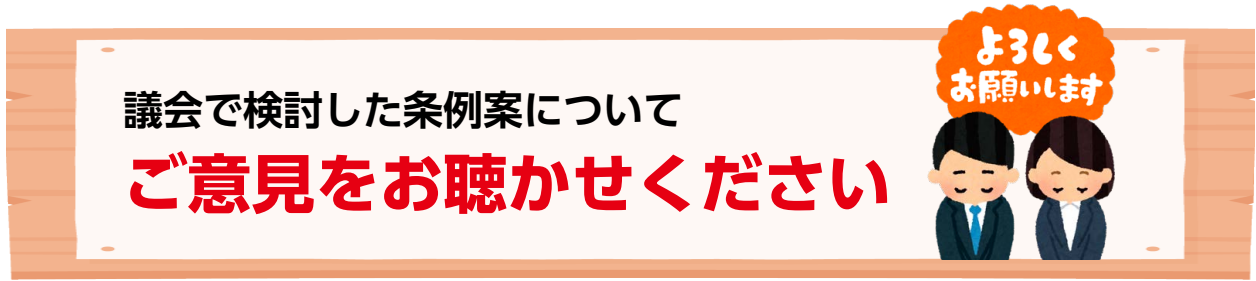
頂いたご意見を整理し、必要に応じて議員による政策討論会を経て、政策立案や理事者への提言につなげてまいります。また、その他のご意見については理事者に回答を求め、議会報告会報告書に取りまとめます。

その他のご意見

- ・中学校の部活動の地域移行について、子どもが多い家庭にとっては費用の負担が増すのではないかと懸念している。
- ・学校給食の無償化や職員不足に対してはどのように対応しているのか。少子化対策は難しい課題ばかりで、すんなりいくとは考えないが、国や県に沿った動きばかりではなく、独自の施策やアクションを考えてもらいたい。
- ・福井県立大学堅海キャンパスの学生は今後3年間で100人近くに増える。住む所や交通網など、キャンパス周辺の生活環境に課題があるように思う。住む所などの整備や経済効果などを試算し、この課題に対して議会と市民とで話し合う場を持ってほしい。



報告書が完成しましたら、各地区コミュニティセンターに届けるとともに、議会のホームページに掲載しますので、ご覧ください。



小浜市議会議員政治倫理条例の見直しを行っています

令和5年3月に地方自治法が改正され、議員の兼業（請負）禁止が緩和されたことに伴い、関連事項が規定されている「小浜市議会議員政治倫理条例」の見直しに係る議論を進めてきました。その結果、同条例を改正するとともに、新たに小浜市議会議員等の請負と指定管理者の指定の状況の公表に関する条例を制定すべきとの結論に至りました。（令和6年3月定例会に関連議案を提出予定）

パブリックコメントを実施しています

今回、本条例案について、議会の議論の透明性の向上を図るとともに、多様な意見を条例案に反映するよう、市民の皆さまからご意見を募集します。条例案は、議会事務局、各コミュニティセンター、市役所東側出入口横の宿直室（土・日・祝日のみ）、議会ホームページで閲覧できます。



意見募集期間は、令和6年1月23日(火)から2月14日(水)までです。

意見を募集する条例の名称	条例改正(制定)の目的と内容
小浜市議会議員政治倫理条例(改正案)	社会状況の変化や地方自治法の改正(議員の兼業(請負)禁止の緩和)に伴い、政治倫理基準の見直し、請負禁止要件の上乗せ制限の撤廃などを行うもの
小浜市議会議員等の請負および指定管理者の指定の状況の公表に関する条例(制定案)	議員等が市に対して請負をする場合または指定管理者の指定を受ける場合の状況を公表することにより、透明性を確保し、議会運営の公正および事務執行の適正を図るもの

※意見は議会事務局にて受付し、後日、議会の考えと併せて公表します

●ホームページをご覧ください

採決結果や次回定例会の日程、本会議の動画配信(本会議終了後2週間程度で視聴できます。)など、さまざまな情報を掲載しています。

議会を傍聴しませんか ~3月定例会の予定~

以下の会議は傍聴することができます。傍聴される際には、議場・会議室に入室される前に、市役所5階の議会事務局で受け付けをお願いします。会議の途中でも入退室できますので、ご都合のよい時間に、ぜひお越しください。

2月 20日(火)	本会議・予算決算常任委員会(令和5年度3月補正予算)
21日(水)	本会議・予算決算常任委員会
26日(月)	産業教育常任委員会・分科会調査(令和6年度当初予算)
27日(火)	//
28日(水)	総務民生常任委員会・分科会調査(令和6年度当初予算)
29日(木)	//
3月 14日(木)	本会議(一般質問)
15日(金)	//
18日(月)	予算決算常任委員会
22日(金)	本会議